



パンフレット HP025
1999年 5月作成
工業用

インクジェット記録紙用耐水化剤

パピオゲン P - 1 0 5

(P A P Y O G E N P - 1 0 5)

パピオゲン P - 1 0 5 は水溶性カチオンポリマーです。インクジェット記録紙に塗工または含浸させることにより、記録紙の耐水性を向上させ、直接染料または酸性染料等を主成分とする水性インキのにじみを防止します。

性質・性状

外	観	無色～淡黄色液体
成	分	第四級アンモニウム塩ポリマー
イ	性	カチオン
オ		
ン		
	pH	約 6.0 (1%水溶液)
固	分	約 60%
形		
溶	性	任意の水に溶解します。
解		

(上記の数値等は代表値であり、規格値ではありません。)

特 徴

- 1 . パピオゲン P - 1 0 5 をインクジェット記録紙に塗工または含浸させることにより、記録紙の耐水性を向上させ、水性インキのにじみを防止します。
- 2 . パピオゲン P - 1 0 5 処理による黄変、耐光性の低下はわずかです。
- 3 . パピオゲン P - 1 0 5 は高濃度品ですので、従来品に比べ、低添加量で同等の効果を得ることができます。



使 用 方 法

記録紙の種類または使用する水性インキに含まれている染料の種類や濃度により異なりますが、パピオゲンP - 105の標準的使用量は0.2 ~ 1% o.w.p.です。

使用方法としては、

通常使用するバインダーと混合し、サイズプレスや種々のコーターにより塗工する方法

シリカ、アルミナ、炭酸カルシウム等のインキ吸収力の高い顔料と混合しバインダーを加えて種々のコーターにより塗工する方法

パピオゲンP - 105の水溶液に含浸させる方法

等の各種装置、処理法を用いることができます。

ご 注 意

使用に際しましては充分試験の上ご使用下さい。

入 目

18 kg

取扱いおよび保管上の注意事項

- 1) 取扱い中は、直接身体に触れないように保護手袋、保護メガネを着用して下さい。
- 2) もし誤って眼や口に入ったときは、直ちに流水でよく洗い流し医師の手当てを受けて下さい。
- 3) 皮膚に直接触れた場合は、直ちに流水でよく洗い流して下さい。もし発疹その他の異常が生じた場合は速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 4) 取扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 5) 使用途中の容器は密閉し、異物が入らないようにして下さい。
- 6) 保管に際しては直射日光を避け、冷暗所(5 から35)で保管して下さい。
- 7) 廃棄するときは、産業廃棄物として処理して下さい。



ハピカンP-105

お 願 い

弊社発行の「製品安全データシート(MSDS)」を用意しております。併せてご活用下さい。